

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームふきのとう 本館第2ユニット	評価実施年月日
		平成21年7月23日
評価実施構成員氏名	高木 美幸 (管理者・介護支援専門員) 野坂 純子 (アシスタントリーダー) 加藤 憲亮 (計画作成担当者)	
記録者氏名	高木 美幸	記録年月日
		平成21年9月6日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>		
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価について話し合う事で、日頃のケアを改めて確認し、サービス向上につなげていけるよう努めている。ミーティング時に報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p>	
8	<p>○運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>2ヶ月に1度、運営推進会議を行っている。日頃にユニットの取り組みや事故などの報告も行っている。内容によって委員の方から頂いたご意見などもユニットへ伝えている</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>グループホーム協議会の研修や市役所などの主催の研修会にも参加し、ケアの向上に努めている</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在第2ユニットではキーパーソンの方が皆さん揃っている為、今すぐに後見制度を利用とする方はいないと思われるがケアマネージャー、管理者は権利擁護に関する研修にもう少し参加し学びたい</p>	<p>○ 成年後見制度に関する研修があれば参加して、もう少し学ぶ機会を作りたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待に関する研修に参加をし、ユニットミーティング等で発表をする機会を作るなど、高齢者虐待防止に関する理解を浸透するように努めている</p>	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>家族の方へ不満、疑問点を尋ねながら、理解して頂ける様、時間を掛けて説明している。看取りについての説明、医療連携体制についても詳しく説明をし、理解をして頂いている</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族からの苦情や近隣住民からの苦情も真摯に受け止め迅速に対応している。苦情内容も職員全体が把握できるよう、書面に記載し、それを回覧する事でケアの向上を図るように努めている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月領収書を家族へ送付する際に医療費などの明細等も全て添付している。又、入居者の状況は毎月ふきのとう通信に写真も付け家族へ報告している		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	相談・苦情の窓口を設置している。苦情などがあった場合は、内容を真摯に受け止め、迅速に苦情等の処理を行っている。内容については記録を残し、職員全体が把握できるよう回覧している。又、運営推進会議でも報告している		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングの時間を設け、職員との意見交換の中から提案を聞き、反映できるよう努めている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	病欠などが発生した場合はシフトの再調整を行い柔軟な対応が出来るよう努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者との馴染みの関係を大切にしている為、職員の移動はほとんどないが発生した場合は利用者へのダメージを防ぐよう努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の新人研修、3ヶ月研修等をユニットで行っている。又、グループホーム協議会の研修にも参加している。参加できなかった職員へはミーティング等で報告している</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>小樽グループホーム連絡協議会を通し、研修に参加して質の向上に取り組んでいる</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>ユニット内で親睦会を行う等、職員同士のコミュニケーションを図るように努めている</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っている。勤務年数に合わせた研修にも参加する</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居の希望があった場合、本人と必ず面談を行い、本人の希望、心身の状況、思い等を把握するよう努めている。又、家族の不安、希望等も伺い、少しずつ信頼関係を築く事が出来るよう努めている</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族の方にも希望や現在までの生活などを伺いながら、不安を解消し、安心していただけるよう努めている。これから少しずつ問題を解決していけるよう努めている</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時に家族や本人の思いなどを伺い、問題を解決できるような支援を提案し、取り組んでいけるよう努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人や家族にグループホームを見学していただき、場の雰囲気等を見ていただきながら、日常生活の状況を説明し、安心していただけるよう対応している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	本人の好きな事、不安などを把握していき一緒に過ごすことで思いを受け止め、支え会える信頼関係を築いていけるよう努めている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	本人の様子をふきのとう通信などで報告し、きめ細かく家族に報告することで共に本人を支えて行く協力関係を築いていけるよう努めている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	これまでの本人と家族の関係を理解し、ふきのとう通信や電話連絡等で信頼関係が途切れないよう留意している。家族来訪時にも本人の様子を伝え、本人と家族が過して頂ける空間を作るよう努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	高齢化による身体機能の低下により、支援が難しくなっている	○	これから入居される方たちの身体状況により、可能であればなじみの人や場所が途切れないよう、支援して行きたいと思う

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	レクリエーションやリビングで寛ぐ時間等、職員も一緒に会話に入り、入居者同士が触れ合えるよう、対応している		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居された家族と連絡する事はほとんどなくなっていくが、地域に住む家族の方には「いつでもお寄りください」とお声を掛けている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段からのコミュニケーションの中から思いや希望を把握していけるよう努めている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時のフェースシート、バックグラウンドや家族の方からの情報にて把握し、ケアプランに取り入れていけるよう努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日、バイタルチェックを行い、個々の身体状況に合わせ、食事の時間等、ペースに合わせ対応している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護支援専門員、計画作成担当は職員とアセスメント、モニタリングをカンファレンスの中で常に行い、入居者家族の思いを取り入れた介護計画を作成している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	期間中に1度、介護計画の見直しを行っている。又、状態が変化する度にカンファレンスを行い介護計画の見直しを行っている。都度、家族にも説明し、対応している		
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者の日々の様子やケアの実践等を個人記録に記入し、職員間で情報を共有している。個人記録をもとにケアの実践、介護計画の見直しを行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居者に身体状況の変化があった場合、主治医に相談し、家族と連絡しながら通院、往診対応を行っている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近隣の小学校・中学校より学校際の招待を受けている。又、地域の楽器演奏、踊りの会などの招待を受け参加している		
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人の状況に応じて訪問美容のサービスを受け対応している		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの方が参加されるようになり、情報交換や協力関係を築いている		



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人、家族の希望に沿い、在宅時からのかかりつけ医を継続して対応している場合が多い。主治医には日々の様子を報告し、特変時にはその都度、指示を仰ぐよう対応している		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	市内で認知症の方を診ている医師に隔週往診に来ていただき、常に入居者の状況などを相談し、対応している		
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居者の身体状況などをかかりつけ医の看護師に相談しながら支援を行っている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時から医療機関と情報交換や相談を行い回復状況を診ながらなるべく早期退院が出来るよう努めている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入居の希望が合った場合、見学時に家族の方にターミナルケアについての説明を行っている	○	重度化した場合できるだけ早い段階から本人家族、主治医と繰り返し話し合い、検討していきたいと思う。ターミナルケアについての勉強会も行いたいと考えている
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	その都度、家族に連絡をし、主治医、看護師と連携をとりながら家族の意向を確認して取り組んでいる		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居 宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換 を行い、住替えによるダメージを防ぐこと に努めている。	別の居宅や施設へ移られる場合はこれまでの生活状況や身体状況、支援の 内容などを情報提供し、ダメージを防ぐよう努めている		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる ような言葉かけや対応、記録等の個人情報 の取扱いをしていない。	ミーティングの中で常にプライバシーを損ねる対応をしないよう検討し、プライ ドを傷つける事がないよう対応している		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている。	個人の関わる力に合わせた声掛けを行い、表情等を読み取るよう努め、小さ い事でも自己決定できるような状況を作るよう、支援している		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している。	その日の入居者の状況を見て、その方のペースに合わせたケアを行うよう支 援している		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている。	毎日の整容に気を付けている。理美容については加齢に伴い歩行が困難に なった方は訪問美容室にて対応している。外出できる方は本人の望む店に いけるよう対応している		
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員がその人に合わせて、一緒に準備や食 事、片付けをしている。	個人の状況に合わせて、刻み食、お粥、トロミ等も取り入れている。食器拭き等 入居者にお手伝いを行っていただいている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お茶が好きな方には本人の希望するお茶を飲んでいただけるよう、対応し、移動販売車にて本人の好きな物を買っていただくなど個人の嗜好にあわせて支援している		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個別の排泄パターンに合わせてトイレの声掛けをし、トイレで排泄できるよう対応している。出来るだけオムツの使用にならないよう支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調なども考慮し、なるべく本人のペースで入浴していただけるよう、支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜間眠れないと訴える方もいるが、その時の状況に合わせた対応をし、本人のペースに合わせて休んでいただいている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	歌が好きな方が多くカラオケの会などの参加にて歌っていただいたり、料理が好きな方には料理本を見て楽しんでいただくなど、個別に合わせて支援をしている。又、食器拭き等の手伝いを行っていただく事により、張り合いを持ってくださるよう取り組んでいる		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人で2000円程度保管されている方もおり、職員同行で移動販売等、買い物支援をしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	健康状態を考慮しながら、天気のよい日は近くに散歩や散髪等に出かけている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	一人一人に合わせ、散髪や軽い食事に出かけている	○	食事ツアーにて昼食を摂る等、状況を見ながら行いたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	地方に住む家族から電話が入った場合、直接話してくださるように対応している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族や馴染みの人などが来訪された時は自室にお茶を出して楽しく一緒に過ごしていただいている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員が身体拘束に関する研修などに参加しミーティング等で発表する事によりユニットの意識向上に努めている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間以外は施錠していないが代わりにドアチャイムを設置して出入りの確認をしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員は常に入居者の状況を把握するよう努めている。入居者のプライバシーに配慮しつつ、転倒等に注意し見守りをしている。夜間は2時間置きに見守りをし、安全に配慮している		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬などの管理が必要なものは一定の場所に保管し、はさみなどは入居者の状況の変化に合わせて、保管させていただき危険がないよう対応している		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	誤薬が起きないように、薬に日付、名前をいれ、ノートにも記録をしている。服薬時には声をかけあい、事故が起きないように、取り組んでいる。誤嚥の心配がある方にはトロミや刻み食などで対応している		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に救急救命の研修を行い、ミーティングでは緊急時や利用者の急変などが合った時の対応を勉強会として行っている		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難経路の確認と消火器の使用方法について訓練を受けている。又、運営推進会議にて地域の方に協力をお願いしている		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	家族へ加齢により転倒等のリスクがあり日々のケアには常に注意している事を説明している。又、抑圧感のない生活を送っていただくよう、見守りのケアを行いつつ注意を払っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p> <p>毎日、血圧、体温測定を行っている。又、顔色、表情、食事量、排泄状況に注意し、状況によっては主治医へ連絡指示を仰いでいる</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> <p>薬の処方箋はユニットに保管し、職員はいつでも確認することができるようにしている。服用時には対応した職員が管理表にチェックをし、誤薬が起きないように努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p> <p>毎日、ヨーグルト、果物などを食べて頂くなど便秘にならないような工夫をしている。又、全員の排便管理を行い、排便状況を確認しながら主治医より指示を受け、処方されている下剤の量を調整している</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p> <p>毎食後、一人一人の力に応じた介助にて口腔ケアを行っている。就寝前は義歯を洗浄し、夜間は保管している</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> <p>毎日、食事量、水分量を個人記録に記入し職員は状況を把握している。食事量が低下している方には主治医に相談し、栄養補助食品の提供等、指示を仰いでいる</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)</p> <p>年1回、インフルエンザの予防接種を受け、職員含めうがい、手洗い、手指の消毒を行っている。食品の取扱にはグローブを着用で対応している</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>冷蔵庫の掃除・消毒を行い、フキンの漂白は毎日行っている。又、まな板などの消毒も毎日行っている。食材の取扱にはグローブを使用し、対応している</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>建物周辺には畑を作り、ベンチ、花を置くなど明るい雰囲気になるよう工夫している。ユニットの玄関には職員手作りのマスコットを置き、親しみやすい雰囲気にしている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>外出やイベント時の写真を壁に貼って楽しんでいただいたり、季節に合わせた飾り付けをし、季節感を味わっていただけるよう工夫をしてる。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングのソファでテレビやカラオケ、懐メロのビデオを楽しんだりお料理の好きな方は料理の本を見られるなど、思い思いに過ごされている</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>その方によっては家族の写真を飾ったり、使用していた家具を持ち込み、使用されている方もおり、心地良く過ごせる空間作りに配慮している</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>空気のだよみがないよう換気に注意している。居室内で排泄介助を行う方もいるので消臭スプレーを使用するなど工夫をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者の身体状況にあわせ、リビング、洗面、トイレ、階段、浴室などに手摺をつけ安全に自立した生活をおくれるよう配慮している</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>個人の出来る力を活かし、食器拭きや洗濯たたみなどのお手伝いに毎日参加していただいている</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>建物の外回りにベンチや花を置き、車椅子の方も含め、作っている畑や花を楽しんで頂けるような空間作りを行っている</p>	



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
V. サービスの成果に関する項目				
項目		取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない		
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない		
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない		
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない		
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない		
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない		
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない		
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="checkbox"/> ③たまに <input type="checkbox"/> ④ほとんどない		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input checked="" type="checkbox"/> ①大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない		
98	職員は、生き生きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない		

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

スタッフのチームワークもよく、一人一人の力に合わせた自立支援、リスクなどに注意しながらの自由な環境作りを提供できるよう努力し、取り組んでいる